

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	診察学1
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	東洋療法学校協会指定教科書　臨床医学総論				
担当教員情報					
担当教員	笠井　友和		実務経験の有無・職種	有・鍼灸師	
学習目的					
患者の症状から、患者の病態を推測する方法を学ぶ。治療に必要な病態把握をするためにの知識と技術を学ぶ。また、患者との信頼関係を構築するうえで必要となる医療知識と検査方法を身に付けることを目的とする。					
到達目標					
正しい患者の病態を把握し、適切な治療を行なうための基礎となる診察法及び重要な症状の診察法を学ぶ。「診察」の意義と概要を具体例を示しながら教授する。また、ありふれた症状から頻度は少ないが見逃してはいけない症状などを紹介・解説し自分のものになるよう身に付けさせる。					
教育方法等					
授業概要	診察学の概要の理解から行う。診察に関する手順、ルールは多く存在し、それを理解実践できるように身に付ける。その後、体表から伺える情報を認識・解釈できるよう学んでいく。視診、触診、打診、聴診から血圧の測定までできるようにする。また体温の動きや反射などの評価などの方法を身に付ける。顔貌、精神状態、身体計測、体型・体格、栄養状態からの診察法を身につける。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合			
	試験・課題	90%	期末試験（筆記試験）		
	小テスト	10%	取得点数が成績に反映される授業内小テスト（筆記試験）		
	レポート	0%			
	成果発表表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	対話の仕組み、診察の意義、診察の一般的心得		医療面接に必要なコミュニケーション法、診察の意義、心得を理解し、診察の重要性を理解する		
2回	診察の順序、診察の記録、関連用語、医療面接1		診察の順序、診察の記録、関連用語を理解する　医療面接の注意事項を身につける		
3回	医療面接2、視診		医療面接で聴取する内容、視診の方法と注意事項を身につける		
4回	触診、打診、聴診、測定法（四肢長および周径）		触診、打診、聴診の方法と注意事項を身につける　四肢長・周径を実際に測定し身につける		
5回	感覚検査、反射検査1		感覚検査の方法と注意事項を身につける　反射検査の注意事項を身につける		
6回	反射検査2		反射の概要を理解し、反射検査を実際に行い身につける		
7回	生命徴候、体温		生命徴候に含まれるもの、体温による診察法を理解し身につける		
8回	脈拍1		頻脈・徐脈を中心とした脈拍による診察法を理解し身につける		
9回	脈拍2、血圧1		不整脈を中心とした脈拍による診察法、血圧基準値を理解し身につける　血圧を実際に測定し測定法を身につける		
10回	血圧2		血圧による診察法を理解し身につける　血圧に関する国家試験問題過去問を解答し、その対策を身につける		
11回	血圧3、呼吸、顔貌		呼吸、顔貌による診察法を理解し身につける　血圧異状の症例を確認し、診察の重要性を理解する		
12回	体型・体格、栄養状態		体型・体格、栄養状態による診察法を理解し身につける		
13回	精神状態1		意識・知能・感情の状態による診察法を理解し身につける		
14回	精神状態2、前期復習		協調性・見当識による診察法を理解し身につける　精神状態異常の症例を確認し、診察の重要性を理解する　前期の学習内容を確認する		
15回	POS、総合		POSの内容を理解し身につける　前期学習内容全般を見直し確認する		